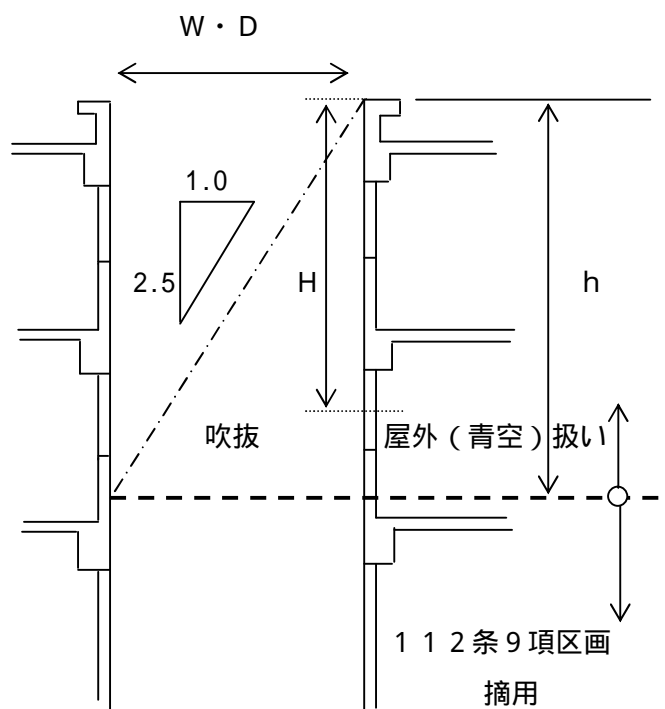
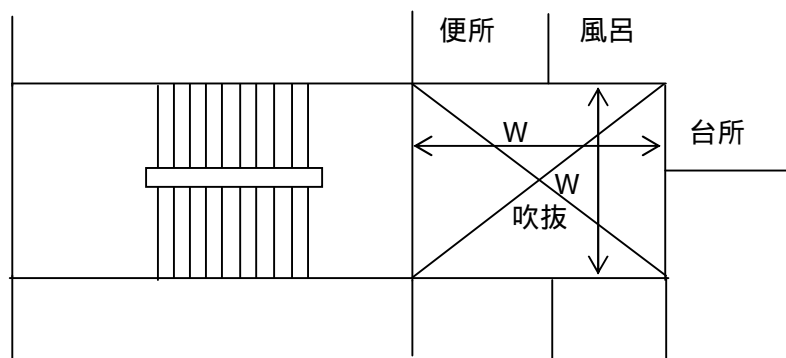


建築物の内部に屋根のない吹き抜け空間を設ける場合の取り扱いは以下による。

- ・屋外とみなす範囲はW(有効)が2m×2m以上でありかつ短辺方向において、
h 2.5W以上の部分とする。



- ・ $W < 2.0\text{m}$ の場合
112条9項区画摘用
(吹き抜の部分屋外として扱えない)

備考

西宮市建築基準法取扱い基準
2010.04.01